

ネイティブプロテウス属 L-グルタミン酸脱水素酵素 (NADP)

Cat. No. NATE-0395

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

L-グルタミン酸脱水素酵素は、グルタミン酸を α -ケトグルタル酸に換する反応を触媒します。

用途

この酵素は、NH3、 α -ケトグルタル酸およびL-グルタミン酸の酵素的測定、ならびにロイシンアミノペプチダーゼおよびウレアーゼのアッセイに有用です。この酵素は、臨床分析においてウレアーゼ (URH-201) と結合して尿素の酵素的測定にも使用されます。

別名

L-グルタミン酸脱水素酵素; EC 1.4.1.4; 9029-11-2; グルタミン酸脱水素酵素; 脱水素酵素、グルタミン酸 (ニコチンアミドアデニジヌクレオチド (リン酸)) ; グルタミン酸脱水素酵素; L-グルタミン酸脱水素酵素; L-グルタミン酸脱水素酵素; NAD (P)-グルタミン酸脱水素酵素; NAD (P)H依存性グルタミン酸脱水素酵素; グルタミン酸脱水素酵素 (NADP)

製品情報

由来

プロテウス属

形態

緩衝水溶液; 50 mM Tris HCl、pH 7.8、5 mM Na2EDTAを含む0.05%ナトリウムアジ化物の溶液

EC番号

EC 1.4.1.4

CAS登録番号

9029-11-2

分子量

mol wt ~300 kDa

活性

> 400 ユニット/mg タンパク質 (ビュレット)

等電点

4.6

pH安定性

pH 6.0-8.5 (25°C, 20時間)

最適pH

8.5 (α -KG→L-Glu) 9.8 (L-Glu→ α -KG)

熱安定性

50°C未満 (pH 7.4、10分)

最適温度

45°C (α -KG→L-Glu) 45-55°C (L-Glu→ α -KG)

ミカエリス定数

1.1 X 10-3M (NH3)、3.4 X 10-4M (α -ケトグルタル酸)、1.2 X 10-3M (L-グルタミン酸)、1.4 X 10-5M (NADPH)、1.5 X 10-5M (NADP+) 構造: 1モルの酵素あたり6つのサブユニット (分子量50 kDa)

阻害剤

Hg++, Cd++, p-クロロ水銀ベンゾエート, ピリジン, 4-4'-ジチオピリジン, 2,2'-ジチオピリジン

単位定義

1ユニットは、30°CでpH 8.3の条件下でアンモニウムイオンとNADPHの存在下で、1分あたり1.0 μ moleの α -ケトグルタル酸をL-グルタミン酸に還元します。

保管・発送情報

保存方法

2-8°C